

大曲農業高等学校太田分校 CAN-DOリスト (令和6年度版)

【学習到達目標】

卒業時：日常的な話題・社会的な話題について、一定の支援を活用することで、コミュニケーションを図ることを楽しむことができる

2学年終了時：日常的な話題・既習事項に関連した社会的な話題について、一定の支援を活用することで、コミュニケーションを図ることを楽しむことができる

1学年終了時：自分自身に関すること・日常的な話題について、多くの支援を活用することで、コミュニケーションを図ることを楽しむことができる

学年	Grade	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
3年生	9	□社会的な話題について、ある程度自然な口調で話される対話や説明を聞いて、概要や要旨を理解することができる。	□論理の展開がはっきりとした英文であれば、社会的な話題について、何度か読み返すことで、必要な特定の情報を取り出すことができる。	□身近な話題や既習のトピックに関連することについて、ある程度準備すれば意見交換をすることができる。	□日常的话题について、即興で短いスピーチをすることができる。	□フォーマットがあれば、短い手紙やメールを書くことができる。
	8	□ゆっくり話されれば、公共のアナウンスを聞いて、より具体的な情報を理解することができる。	□メールやパンフレット、掲示等の英文を読み、書き手の意向や必要な特定の情報を取り出すことができる。	□身近な話題や既習のトピックに関連することについて、相手の意向を踏まえた上で、自分の意見と理由をさらに伝えることができる。	□社会的な話題について、準備した原稿をもとに練習した後、メモやキーワードを見ながら話すことができる。	□社会的な話題について、辞書やタブレットを活用し、2～3つの文をつながり示す語を使いながら書くことができる。
	7	□身近な話題や既習のトピックに関連したことについて、ある程度自然な口調で話される対話や説明を聞いて、より具体的な情報を理解することができる。	□身近な話題であれば、知らない語句の割合が増えても、何度か読み返すことで、必要な特定の情報を取り出すことができる。	□身近な話題や既習のトピックに関連することについて、理由をつけて自分の意見や立場を伝えることができる。	□社会的な話題について、準備した原稿をもとに練習した上で、自分の気持ちや立場を交えて話すことができる。	□身近な話題や既習のトピックに関連することについて、辞書やタブレットを活用し、2～3つの文をつながり示す語を使いながら書くことができる。
2年生	6	□身近な話題や既習のトピックに関連したことについて、ある程度自然な口調で話される対話や説明を聞いて、概要や要旨を理解することができる。	□メールやパンフレット、掲示等について、タイトルや視覚的情報等を手がかりにしながら、必要な特定の情報を探し出すことができる。	□相手の発話を受けて、適切な5W1Hと簡単な単語を組み合わせて質問を返すことができる。	□身近な話題や既習のトピックに関連することについて、準備した原稿をもとに練習した後、メモやキーワードを見ながら話すことができる。	□身近な話題や既習のトピックに関連することについて、辞書やタブレットを活用しながら、内容的につながりのある2つの文を書くことができる。
	5	□ゆっくりはっきりと話されれば、公共のアナウンスを聞いて、概要を理解することができる。	□身近な話題であれば、知らない語句の割合が増えても、視覚的情報等を手がかりにしながら概要をある程度推論することができる。	□身近な話題や既習のトピックに関連することについて、自分の意見や立場を簡単に伝えることができる。	□身近な話題や既習のトピックに関連することについて、準備した原稿をもとに練習した上で、自分の気持ち・立場を交えて話すことができる。	□フォーマットがあれば、身近な話題や既習のトピックに関連することについて、辞書やタブレットを活用しながら、自分の気持ちや立場を伝える簡単な文を書くことができる。
	4	□ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活の身近な話題や既習のトピックに関連したことについて、より具体的な情報を理解することができる。	□既習の語句を用いて書かれた短く平易な英文のまとまりを何度か読み、より具体的な情報を理解することができる。	□日常生活や身近なことに関して、文法的に完全でなくとも、自分の意向を伝えることができる。	□身近な話題や既習のトピックに関連することについて、準備した原稿をもとに練習した上で、内容を紹介することができる。	□5～6つの単語を並べ替え、平易な文を作ることができる。
1年生	3	□ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活の身近な話題や既習のトピックについて、概要や要旨を理解することができる。	□ごく平易なメールやパンフレット、掲示等の英文を読み、タイトルや視覚的情報等を手がかりにしながら、主題を理解することができる。	□基本フレーズを用いて、買い物や道案内などの場面で自分の意向を伝えたり、相手に情報を教えてあげたりすることができる	□準備した原稿をもとに練習した上で、お気に入りの場所や大切にしているもの・人など自分自身のことについて、簡単な紹介をすることができる。	□フォーマットがあれば、自分や身の回りのことに関して、辞書やタブレットを活用しながら、ごく平易な文を書くことができる。
	2	□自分自身について尋ねられた簡単な質問を聞いて、理解することができる。	□既習の語句を用いて書かれた、短くごく平易な英文のまとまりを読み、概要を理解することができる。	□知りたい情報を得るために適切な5W1Hと簡単な単語を組み合わせて質問したり、5W1Hを使った質問を理解して答えを返すことができる	□準備した原稿をもとに練習した上で、簡単な自己紹介をすることができる。	□3～4つの単語を並べ替え、文頭を大文字にしてごく平易な文を作ることができる。
	1	□基本的な挨拶や授業中の指示を聞いて、理解することができる。	□英語の語順に気をつけながら、ごく平易な英文の意味を理解することができる。	□単語レベルでもいいので、自分自身について尋ねられた簡単な質問に答えを返したり、相手について情報を得るために質問することができる。	□発表する際、声の大きさやトーン、速さやアイコンタクトなどに気をつけ、聞き手の存在を意識しながら話すことができる。	□アルファベットの大文字と小文字の区別をして単語を書くことができる。
評価方法		活動観察、リスニングテスト	小テスト、ワークシート、定期考査	活動の観察、インタビューテスト	活動観察、スピーチ、プレゼンテーション	定期考査、ワークシート